



クラボウのD&Iは、 DE&Iに進化します!



～ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン～

社長メッセージ

クラボウグループは2019年9月より、ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) を重要な経営戦略の一つと位置付け推進しておりますが、この度、呼称をダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I) に改め、「多様な人材が活躍できる職場づくりを通じたイノベーションと新たな価値の創造」に向けた取り組みを一層推進します。

ダイバーシティ (Diversity/多様性) とインクルージョン (Inclusion/受容) に新たに加えたエクイティ (Equity/公平性) とは、「公平な扱い」や「不均衡の調整」のことです。社員にとってのエクイティとは、一人一人の個性が異なっていることを前提として、土台を公平にするために、その環境を個々に合わせて調整することであり、何かを一律に付与する「平等 (Equality)」とは異なります (下図参照)。

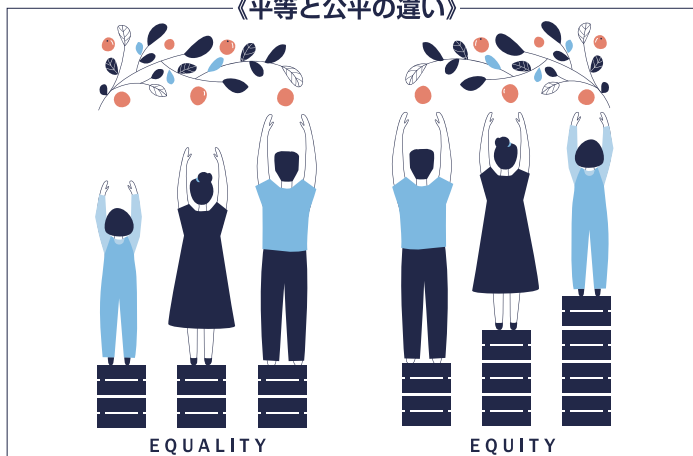
今後クラボウグループは、このエクイティも意識した取り組みを加速させ、一人一人の個性 (性別、年齢、知識・経験、価値観、文化・国籍・人種、性的指向・性自認・性表現、障がい、等) やライフスタイル (働き方、育児・介護、等) を尊重し、認め合い、配慮し、全ての社員がその能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを目指します。

当社の社是「^{どうしんりくりよく}同心戮力」は、社内の和と団結を第一とし、社員の力を十二分に発揮できる環境づくりを目指して初代社長大原孝四郎が掲げた言葉で、一人一人の働きや才能が異なっても、目的を達成するために、皆が心をつ一つにして、お互いに力を合わせて協力していこう、という意味です。

この社是が示すとおり、クラボウグループでは創業当初から今日のDE&Iに通じる考え方が大切にされてきました。私たちは、この風土を未来に受け継いでいかなければなりません。

先行きが不透明で、将来の予測が困難なVUCA時代にあって、クラボウグループが社会から必要とされる会社であり続け、より良い未来社会づくりに貢献するため、多様な個性を結集させ、その力を如何なく発揮できる会社にしていきましょう。

《平等と公平の違い》



2023年12月1日
取締役社長 藤田 晴哉

経営理念、ビジョン (あるべき姿)、ミッション (やるべきこと)

・クラボウグループ経営理念

私たちクラボウグループは、新しい価値の創造を通じてより良い未来社会づくりに貢献します。

・DE&Iビジョン (あるべき姿)

多様な個性を尊重・配慮し、認め合う職場環境・風土の醸成

・DE&Iミッション (やるべきこと)

- －DE&Iの周知・啓発による意識改革
- －制度・職場環境の整備



ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I)

クラボウグループではダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I) を以下のように定義します。



・ダイバーシティ (Diversity)

個性 (性別、年齢、知識・経験、価値観、文化・国籍・人種、性的指向・性自認・性表現、障がい、等) やライフスタイル (働き方、育児・介護、等) が異なる、多様な人材が集まっていること。

・エクイティ (Equity)

公平な扱い、不均衡の調整を行うこと。

一人一人が異なる存在であることを前提に、個々に合わせた環境の整備や支援を行い、公平な土台をつくり上げること。

従業員を「公平 (Equity)」に扱うことは、「平等 (Equality)」に扱うこととは異なります。

※公平と平等の違い

公平：各人の状況・制約に配慮して、目的を達成するために適切なものをそれぞれ与えること
 平等：個人の違いは視野に入れず、全ての人に同じものを与えること

例)	公平	平等
	右利きの人には右利き用のハサミを配布 左利きの人には左利き用のハサミを配布	全員に同じハサミを配布

・インクルージョン (Inclusion)

多様な人材が、互いの考え方の違いや個性を受け入れられ、組織に貢献できる状態。

クラボウグループ創業の精神とDE&I

社である「同心戮力」は、一人一人の働きや才能が異なっても、目的を達成するために、皆が心をつにして、お互いに力を合わせて協力していこう、という意味です。このように、クラボウグループには創業当初から今日のDE&Iに通じる精神があります。

このたび、D&Iの呼称をDE&Iに改めましたが、DE&I推進のための取り組みについても、進化させていきます。多様な人材の活躍支援に関し、引き続き、皆さまの一層のご理解とご協力をお願い致します。

(人材開発課 河村 僚子 記)